



講師
名古屋大学文学部教授
斎藤 夏来 先生

入場無料

歴史講演会

「五山文学と織田氏」

斎藤夏来先生のプロフィール

■経歴

1969年福井県に生まれ愛知県に育つ

東京大学文学部、同国史学専修課程卒業

名古屋大学大学院文学研究科史学地理学専攻博士後期課程終了

歴史学博士

名古屋大学附属図書館研究開発室特任准教授/岡山大学大学院教育学研究科教授

を経て2016年から名古屋大学文学部教授

■主な著書・論文等

『五山僧がつなぐ列島史：足利政権期の宗教と政治』(名古屋大学出版会)『東アジア

のなかの五山文化』(東京大学出版会)『禅宗官寺制度の研究』(吉川弘文館)『織

豊期の政治構造』吉川弘文館

『愛知県史』『山梨県史』『瀬戸市史』『豊田市史』などの執筆

「鳥取藩士の勝入法事創始と画像の招来」(鳥取藩政資料研究会編『鳥取藩研究の最前線』鳥取県立博物館)

「近世の在家・出家と朝廷文書の所持」(豊田市史研究 6号)

「高木家文書の高度活用における関連文書調査の意義」(名古屋大学附属図書館研究年報)

「室町期荘園制下の在地勢力と五山制度」(日本歴史 801号)など多数

＜講演について斎藤先生からのメッセージ＞

「岐阜」という名称は禅僧が考案したといわれるように、中世禅宗の重点は、坐禅より文学にあるといっても過言ではない。今回は、織田氏が必要とし、受容したいいわゆる五山文学作品のいくつかを読解し、中世・戦国時代の政治と宗教との関わり合いについて考える素材を提供したい。

◆期日 令和元年5月23日(木)

◆会場 岐阜県図書館 1F 多目的ホール

◆時間 午後2時30分～(受付2時～)

(1時15分～2時15分は協会の総会を実施しています)

※参加希望者は当日直接会場受付へお越しく下さい

定員300名になり次第締め切ります

岐阜県歴史資料保存協会・岐阜県歴史資料館共催

